

【4 年制】アセスメントプラン

1. アセスメントプランの目的

建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」を達成するために策定された 3 ポリシーに基づき、機関レベル（全学）、教育課程レベル（学部・学科等）、科目レベル（授業）の 3 段階で学修成果を点検・評価するとともに、これらの結果を活かして教育活動の改善につなげることを目的とする。

2. アセスメント対象と指標（具体的な検証方法）

アセスメントは以下の基本構成で行い、必要に応じて各指標を相互に関連させて実施する。また、機関レベルの評価は、教育課程レベルと科目レベルの各指標を基にして多面的・総合的に評価する。

アセスメント対象	アドミッションポリシーの適切性(※は学科選択)	カリキュラムポリシーの適切性	ディプロマポリシーの適切性(※は学科選択)	3 ポリシーの整合性
指標	機関レベル(全学)	大学の基本理念・目的との整合性 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の受入れ、受入れ方法の適切性 ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性 	大学の基本理念・目的との整合性 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性 	大学の基本理念・目的との整合性 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性
	教育課程レベル(学部・学科等)	選抜機能 <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・高校の学習成績の状況(評定平均値)※ ・プレイスメントテスト ・GPA ・出席率 入学前教育の有効性 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生調査 ・入学前教育プログラム 	成績評価の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・GPA 設計・実行の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマップとシラバスの検証(GPA,各科目の成績分布,学修ポートフォリオでの到達目標に対する自己評価結果等と合わせて実施) 学修成果の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度試験 ・学生生活調査 ・社会貢献活動参加率 ・連携総合ゼミ履修率 ・国際交流活動参加率 	学修成果の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・DP 到達度評価 ・卒業時アンケート ・GPA ・国家試験・資格試験合格率 ・卒業研究・臨床実習の成績分布※ ・社会貢献活動参加率 ・連携総合ゼミ履修率 ・国際交流活動参加率 DP および学修成果の評価の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後調査 ・病院施設および一般企業意識・満足度調査
	科目レベル(授業)	成績評価の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・各科目成績分布 ・GPA 設計・実行の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・単位授与率 ・出席率 学修成果の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート 		